



国際親善ニュース

創 刊 号

昭和51年9月25日発行

金沢市都市提携委員会

事務局：金沢市総務部総務課

国際親善係 TEL 20-2075

—— 創刊にあたって ——

金沢市長 岡 良 一

「姉妹都市」。何と親しみのある呼び名であろう。今、金沢は、バファロ、イルクーツク、ポルトアレグレ、гентそしてナンシーと5つの姉妹都市を持っている。私は、昨年8月イルクーツク市から招かれたが、サラツキー市長は、まったく素朴な友情でもてなしをしてくれ、ほとほと感銘をしたものである。国と国の外交には、本音と建前があって、時々、不必要なまでにギクシャクすることがあるが、姉妹都市の市民と市民の間には、たとえ、その国の体制が違っていても肌と肌が触れあうような温かさを感じるのである。

私は、平和日本の各都市が、全世界の都市と出来るだけ姉妹都市を造り、東京で、世界平和大会でも開くことが出来れば世界の平和は、もつと素直に積みあげられるのではなからうかと思っている。

金沢市都市提携委員会 会 長 油 谷 外 郷

都市提携委員会の会報「国際親善ニュース」が創刊の運びとなりましたことを心から嬉しく思います。

これまでいろいろ御協力を賜った会員の皆様には、年一度の総会の時だけにしか会活動の御報告を申し上げたり、この活動への御意見を伺えなかったことを大変残念に思っておりました。これからは、この会報を通じて国際親善交流について広く御紹介でき、又、皆様の積極的なアイデアを取り入れる場ができましたことは誠に喜びに耐えません。

5都市の市民との間に過去つちかわれてきた深いつながりを基礎に、今後も多数の市民の積極的な御理解と御協力によりますます活発な交流活動を続け、より充実した都市提携活動が推進できるようにしたいものと念願しております。

金沢の姉妹都市

○バファロ (アメリカ合衆国)

人口約53万人。エリー湖の沿岸に位置し、西部ニューヨーク州の政治、経済、教育、文化の中心地である。主な産業として製鉄、製粉、化学を中心に、自動車、機械、食品、繊維等、多種にわたっている。又、州立バファロ大学を始め8つの大学、ノックス美術館、歴史博物館、クレインハンス音楽堂、公立図書館等の教育・文化施設が数多くある。金沢と同じく「緑の都市」としても有名で、市立の公園面積は3,000エーカーにも達する。バファロは、カナダと国境を接した位置にあり、市の中心から20マイルの郊外には世界の観光地ナイアガラ瀑布があり、毎年多くの観光客が国の内外から訪れる。

○イルクーツク (ソ連)

東シベリアのバイカル湖から西へ66キロ。アンガラ州とイルグート川の合流点にあり、人口50万人。広大な東部シベリアの経済、文化、教育の中心地で、市内の中央をアンガラ川の清流が縦断し、トーボリとアカシアの美しい緑と、空気の澄んだ都市である。工業面では、バイカル湖の水を利用した発電所、金属工業、木材コンビナートが発達し、最近では機械工業、石油化学、食品工業等の大規模工業地帯として目ざましい成長を上げている。又、神秘的なベールに包まれたバイカル湖の観光都市としても知られ、ギリシャ聖教の寺院など古い建物も多く、7つの大学、美術館、オペラ・バレエ劇場など数多くの文化施設がある。

○ポルトアレグレ (ブラジル)

リオ・グランテ・ド・スル州の州都で、人口約73万人。ブラジル南部の商工業、文化、教育の中心地である。ガイバ河口の優れた地理的位置と温暖な気候に恵まれ、肥えて豊かな農業地帯を後背地に有し、畜産物、タバコ、米、ブドウ酒、木材、石

炭を産出し、又、食品、毛織物、金属等を中心とする工業を有す。市民は、ラテン系特有の明朗と友情にあふれ、町は、太陽と緑に包まれ、別名「ほほえみの町」と呼ばれており、風光明媚な観光地としても有名で、特に港の美しさは素晴らしく、隣国の首都モンテビデオやブエノスアイレスからも年中観光客が訪づれている。

○гент (ベルギー)

гент市は、ベルギーの首都ブリュッセルの西方約50キロにあり、フランダース地方の中心都市で東フランドル県の首都、人口は約25万人である。5年ごとに世界的に有名な国際フラワーショーが開かれ、別名「花の都市」と呼ばれる。7世紀に町ができて以来由緒ある多彩な歴史をもち、名所旧跡が数多く、また伝統的な文化、美術の町として金沢とよく似た性格を有している。中世紀に、織物産業の盛んな町として繁栄、内陸港гент港は、アントワープに次ぐベルギー第二の港であり、近代的な産業都市でもある。又、ベルギーの公用語は、フランス語とオランダ語で、гентではオランダ語が使われている。

○ナンシー (フランス)

人口は、約25万、ロレーヌ地方の中心地で、機械工業、織物、冶金、クリスタルガラス等の商工業中心地である。市の周辺部には大工場が建並びフランス国内屈指の工業地帯を形成している。一方、街の中心部は閑静で古めかしい石造りの家々が並び、特に、ロレーヌ公国の城下町としての面影をとどめるスタニスラス広場とその周囲は、18世紀ヨーロッパ建築の代表として有名で、シーズンにはフランス内外からの観光客で賑わう。同市はナンシー学区の中心地でもあり、2つの総合大学を始め、グランド・エコールと称する高等教育施設があり、学生数は、3万人に近く、人口に占める学生数の割合も非常に高い。

留学生と語り合う



出席者 アリフ・マウラニ君 (インドネシア)
昭和50年度金沢市東南アジア留学生
現在、金沢大学法文学部経済学科二年
ヘリー・ダルソノ君 (インドネシア)
昭和51年度金沢市東南アジア留学生
現在、金沢美術工芸大学油絵専攻聴講生
ジャッキー・テムロー君 (フランス)
昭和51年度ナンシー市派遣交換留学生
現在、金沢美術工芸大学油絵専攻聴講生
都市提携委員会事務局員一同

司会：みなさん方は、それぞれ本市の東南アジア留学生受入制度適用者として、又、姉妹都市ナンシーとの交換留学生として金沢で勉強されているわけですが、まず、どうして金沢で留学することを希望されたのかをお聞きしたいと思います。

アリフ：私は、留学前に一度金沢へ来たことがあります。その時、本当にのんびりとした、そして古い日本的なものが残っている町だと思いました。又、温かい人情にも触れ、実によい所だと思ったからです。

ジャッキー：私は、機会があればフランスを離れてどこか旅行を試みたかった。日本は行ってみたい国の一つでもあったし、特に金沢は、ナンシーの姉妹都市でもあったので留学を希望しました。

ヘリー：私は、絵かきさんになりたい。金沢にこうした制度があることを在日インドネシア大使館から聞いて知り、金沢で絵の勉強をしたいと思います。

司会：金沢へ来て、一番のよい思い出になっているのは何ですか？

アリフ：前に金沢へ来たことがあると申しましたが、その時おいしいスキヤキをいただきました。又、昨年、小立野で下宿していた時、近所の方々から大変親切にしてもらいました。東京で少し生活したことがありますが、金沢の人々の温かい人情を本当に嬉しく思います。

ジャッキー：先月、日本の南部を旅行したことが良い思い出です。

ヘリー：金沢の東山で日本料理を食べたことや、江戸村へ行った時、そして、つい先日、石亭で私のために二科展入選祝いをしていただいたことが良い思い出です。

司会：みなさんの育った町と比べて、金沢の町はどうですか？

アリフ：私の育ったバンドンの町も緑が多く、又、こちらの春と秋の気候がバンドンと良く似ています。そして、静かで学校の多いことも似ています。

ジャッキー：金沢は、人口の面でも、又、規模の点でもナンシーとよく似ております。金沢の人々は、よく私に話かけてきます。こちらにきて同じ質問を何回も何回も受けております。人情が、温かいです。

ヘリー：私の町ジョジャカルタの町とよく似ていて、東山のよ

うな町もあります。金沢の人々は、大変親切で嬉しいですが時々、親切すぎることもあります。

司会：それは、具体的にどんなことですか？

ヘリー：親切すぎて個人の生活にまで入ってしまうことです。

司会：なるほど。それでは、金沢での日常生活で不便だと思ふことがありますか？

アリフ：一つは金沢の方言で、なかなかわかりにくいですが、二つ目には、金沢のバス時間が定刻どおりでなかったりして不便ですが、都会と比べてのんびりしてて良いのかも知りません。

ジャッキー：不便かどうかわかりませんが、金沢の人々は、時々、キョトンとして私を見ることもあり、少し困ります。

ヘリー：さき程、申し上げましたので特にありません。

司会：現在、みなさんが留学している大学で不便を感じたり、特に要望されることがありますか？

アリフ：私は、金沢大学へ行かしてもらっているのですが、最近外国人の数が金沢でも増えていることを知りました。それで金沢にも日本語学校のような施設があればと思います。

司会：東京あたりでは、大学の中にそうした施設がありますね。

アリフ：金沢の場合、大学の中ではなく、社会人の方も学べるように独立した施設が良いのではないかと思います。

ジャッキー：私は、美大の聴講生ですが、生徒のための設備が十分でないように思います。勉強の仕方、もっと自分の研究に没頭できる自由なものであればよいように思います。

ヘリー：私も美大の聴講生です。美大の生徒のテッサンは一般に大変よいと思います。しかし、合評会の時、生徒は、自分の考えをあまり発表しないので少々物足りない思いがします。

司会：金沢のこうした留学制度について何か要望されることがありますか？

アリフ：できれば、その留学生の勉強期間に合わせた留学期間にしていただければと思います。

ジャッキー：特にないです。

ヘリー：この制度は、大変よい制度だと思います。できれば、もっと市対市の交流を考えられて、例えば、私の町と金沢間の交換留学生というのでもよいのではないかと思います。

司会：今日は、みなさん本当にありがとうございました。

ナンシー国際見本市に参加して

ナンシー市からのナンシー国際見本市への参加要請に答え、本市から江川助役を団長に、野村昭子さん、徳野信江さん、石田博子さん、牧野佳子さん、上木典子さんの5名のコンパニオンが派遣された。一行は6月3日から11日までナンシーに滞在し、見本市会場で、観客にお茶のサービス、折り紙、つまみ細工を演習し、ナンシー・金沢間の理解と友好を深めた。

—— コンパニオンの日記 ——

野村 昭子

6月3日から14日まで、姉妹都市ナンシー市において開かれた国際見本市で、その金沢紹介展示コーナーのコンパニオンの指導者として派遣され、ナンシー市に8日間滞在いたしました。

6月3日 午前、見本市会場へ到着。まだ未完成の展示ハウスで、早速梱包を開き、展示品の飾りつけを始めた。鯉のぼりがナンシーの空高く泳いだ時、コンパニオン一同(5人)は感激した。夕方からお茶、折紙、私は、つまみ細工の実演を開始した。私のつまみ細工を、あまり熱心に見学しているのでお客さんに差し上げたら、大変喜ばれた。夜は、十時頃にやっと陽

が沈むので毎日10時迄会場にいる必要があった。

6月5日 今日、見本市の開会式でマルタン市長始め、要人が多数、私達の実演を見学され緊張した。着物の帯の目的を質問され返答に困り「ベルト」と答えたら理解されたようだった。

6月6日 ある家庭に、私一人で一泊することになり、夜11時頃から食事の時間となったが、先ずお椀にスープを入れ、日本酒を出されたので驚いた。と同時にその手厚い歓迎に心が安らんだ。フランス語は駄目、英語も25年ぶりに単語を思い出しながらどうにか話を通じた。

6月8日 先日、つまみ細工をプレゼントした方からバラの花が届けられた。

6月10日 今日は「日本デー」。市長表敬訪問をし、ドゴール大統領が使用したペンで記帳した。金沢からこの春に送られた桜の苗木の前で記念撮影をした。苗木は、大切に育成されており、若葉が出ていた。会場へは、今日も芍薬の花が届けられ、又、他の方からもいろいろ載せ、これ程までに異国の地で喜ばれるとは思わなかった。何時の日か又、逢える日を夢見ながら会場を後にした。

言葉は違っても、同じ人間同志、態度で示せば気持は通じます。お陰様で、生涯私には忘れられない人生の有意義な1ページを記すことができました。

ミニ・レポート

○第31回гент国際見本市の開催

ベルギー政府が日本をゲスト・カントリーとして開く今回の同見本市は、本市にとっても姉妹都市ということで特別に金沢の展示コーナーが設けられることになった。会期は、9月11日から26日までで、同見本市実行委員長F・メイバエルト氏からは、本市関係者の参加案内状が来し、油谷外郷都市提携委員会々長がгентを訪問中である。

本市は、この見本市に水引きで造られた鎧、兜人形や日本人形等7点とポスター、写真類をジエロ金沢貿易相談所と協力し、発送した。同見本市では、9月14日を特別に「日本デー」として企画しており、日本・ベルギーおよび金沢・гент間の友好と理解が更に深められるものと思われる。

○姉妹都市子供フェアの開幕近し

大きな未来をになう子供たちこそ、私達の大切な宝であり、平和と友愛の心の持ち主に成長するよう、私達大人は心から望んでおり、又、そうすることは、大人の使命でもあります。



こうした理念に基づき、昨年の「姉妹都市フェア」に引き続き、今年は、「姉妹都市の子供たち」をテーマに「金沢姉妹都市子供フェア」が金沢名鉄丸越8階ホールを会場に、10月1日から6日まで開かれます。

既に当委員会あてにгент、ナンシー、イルクーツクから数多くの展示品が送られて来ております(写真)。色彩豊かな児童画、楽しいおもちゃ、美しい童話の本そしてあどけない子供達の写真は、きっと金沢の子供たちに限りない夢と希望をたくみ、そして何よりも生きた国際交流を膚で感じ取っていたいただける催し物になるものと思います。

昭和51年度総会開催

○報告

昭和51年度金沢市都市提携委員会総会が5月29日市役所第一議会々議室において開催された。

総会には油谷会長、岡市長のほか委員30人が出席。会長および市長の挨拶の後、議事に入り、昭和50年度事業報告および収支決算報告が事務局からなされ全会一致で承認された。この後昭和51年度事業計画および予算に関する議案が提出され、委員各位により協議され可決された。主な事業計画として、6月のナンシー市親善使節団と本年中に予定されるイルクーツク市学校教師2名の受入れ、又、8月の市青少年代表団、兼六民謡会県音楽文化協会のパファロ訪問そして県民謡協会のイルクーツク訪問、ポルトアレグレ市長の招待が協議された。又、予算案は、都市提携業務経常費70万円、同特別事業費560万円、東南アジア留学生受入事業費144万円が可決された。

事務局だより

○姉妹都市コーナー

姉妹都市からの贈物を来庁者が自由に御覧いただけるよう、新館1階ホールに「姉妹都市コーナー」を設けてあります。主なものを紹介しますと、パファロからの野牛のミニチュア、イルクーツクからのサモワール(湯わかし器)、ポルトアレグレからのガウシヨの像、гентからのすず製飾皿、ナンシーからのクリスタルガラスなどがあり、各姉妹都市の市長の写真も飾られており、過去の親善交流を一目で見ることが出来ます。

○民泊受入家庭募集

本市では、はるばる外国から訪れるお客様を暖かく迎えて、日本の家庭を味わっていただくために「民泊希望者受入家庭登録制度」を実施いたしております。外国から訪れる人たちは、金沢の美しい自然と古きよき日本の伝統文化に感銘して帰国しますが、それにも増して私達市民との交わりは深い思い出として心に残るようです。又、受入家庭側でも顔と顔を合わせての話し合いを通じて、いままではるか遠い所と思っていた外国との距離感が一挙にちぢまるようです。

登録を御希望の方、又は詳細をお知りになりたい方は、当事務局へ御一報ください。

○編集後記

◎台風一過、さわやかな秋風の候となりました。「国際親善ニュース」発行が随分遅くなったことを申し訳なく思っております。

◎創刊号とあって、字体から内容構成にいたるまで十分検討して編集したつもりですが、まだまだ不十分でお見苦しい点がありますことをお詫びいたします。

◎肩のこらない気楽な、楽しいものにしていきたいと思っております。どうぞ皆様方の御意見、御感想、そして楽しい記事をごとどしお寄せください。国際親善の「広場」として利用して行きたいと思っております。

◎アメリカ建国二百年記念親善訪問団等の記事は、次号でお知らせします。